

令和6年度
行政評価(実施計画(施策))外部評価



令和7年9月

飯島町

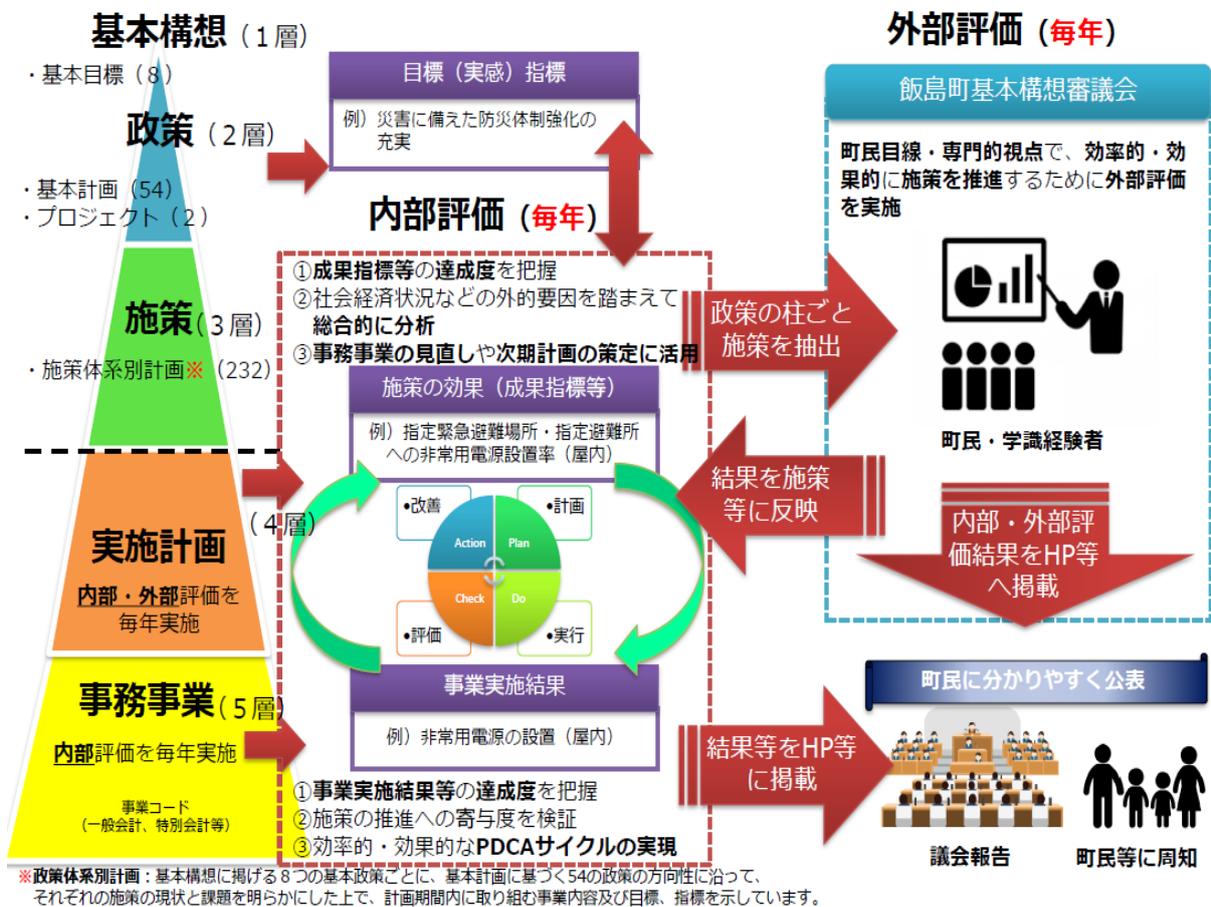
I 飯島町の施策評価・事務事業評価制度

1 目的

行政の施策を評価しマネジメントサイクル（PDCA サイクル）を確立することで、施策の改善を導き、効率的で成果を重視した行政と開かれた行政を推進します。

2 体系図

飯島町第6次総合計画における評価制度（全体イメージ）



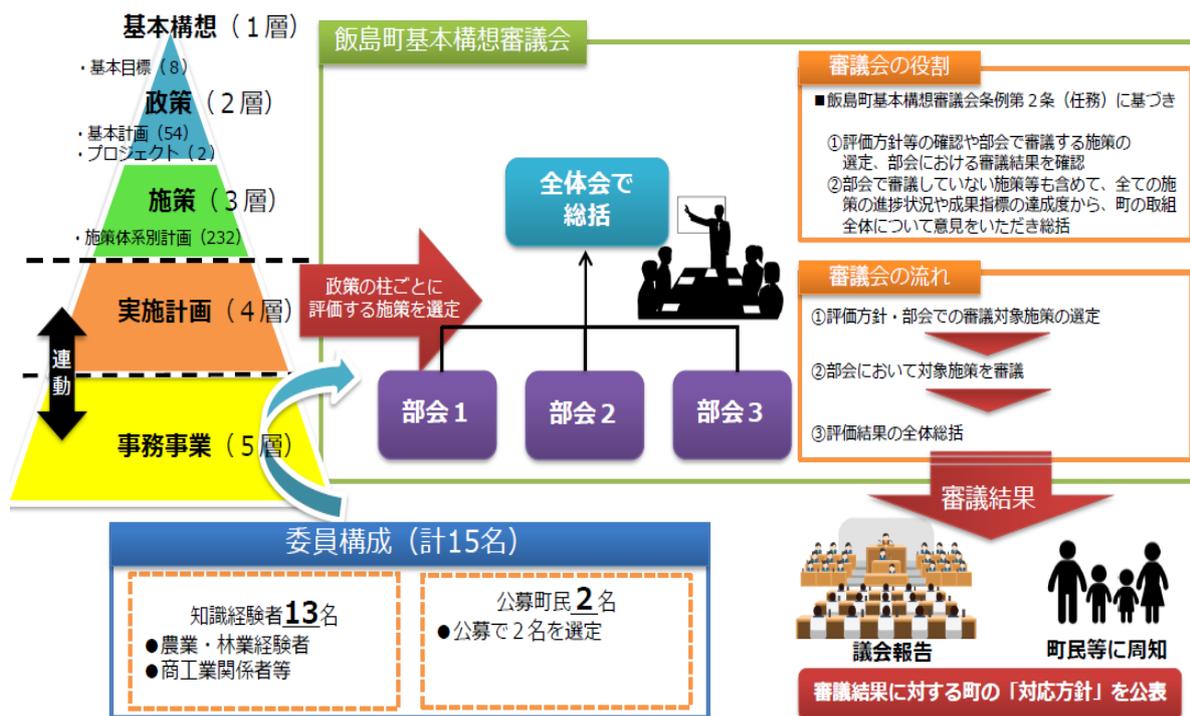
「実施計画（施策）評価」は、施策評価シートを活用し、成果指標等を通じて、配下の事務事業の効果を検証できるようにすることで、施策と事務事業の関係性を明確化し、事業の見直しに繋がります。

「事務事業評価」は、事務事業評価シートを活用し、効率的・効果的な進行管理となるよう、施策評価シートと連動することにより、事業の必要性や有効性、効率性などを客観的に評価できるようにし、効果的なPDCAサイクルの実現に繋がります。

II 外部評価

町民目線・専門的視点で、効率的・効果的に施策を推進するために、実施計画（施策）評価について外部評価を実施します。

1 外部評価の全体イメージ



2 評価者

第三者機関による評価として、基本構想審議会の委員が行います。

3 評価対象

飯島町第6次総合計画に基づく8つの基本目標ごとに評価する施策を1施策（事業）選定し、評価を行います。

4 評価方法

選定された評価対象施策について部会ごとヒアリング等を実施し、審議します。

各部会の審議結果を全体会で確認し、評価を確定します。

5 外部評価【スケジュールイメージ】

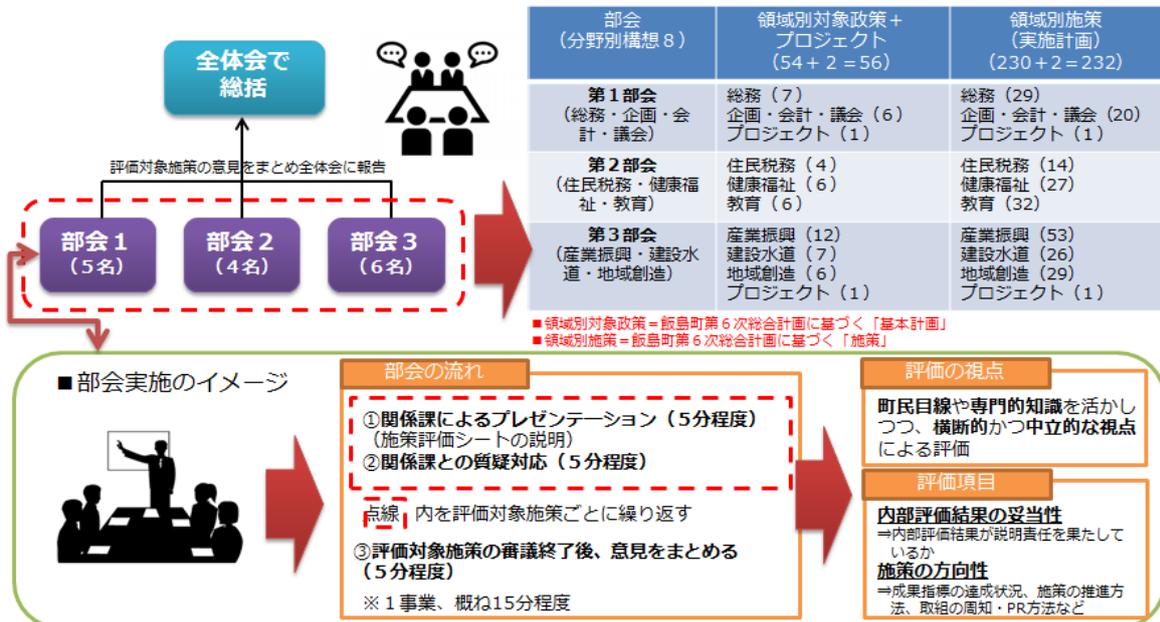
	7月		8月	
評価者	第1回 審議会	②質問 事項提出		第2回 審議会
事務局 企画調整係	①選定		③ まとめ	⑤評価
対象施策 担当者			④ 説明準備	

6 外部評価のポイント

- ・外部評価の対象施策は、政策の柱ごとに選定され、選定された施策の担当者は、施策の説明を十分に行います。
- ・審議会では、施策の進捗状況や成果指標の達成度から、総合的に評価を行い、意見を付して町に提出します。
- ・審議会の附帯意見について、町の対応方針を作成・公表し、今後の取組改善や次期実施計画に活用していきます。

7 外部評価における部会の役割と進め方

- (1) **選定した各施策を重点的に審議するため**、以下の分野別に分けた部会を設置し、選定した施策を重点的に審議する
- (2) 部会を構成する委員は、学識経験者と町民公募の体制で行う
- (3) 部会の審議終了後、**意見をとりまとめ、全体会に報告する**



8 外部評価シート イメージ

令和6年度実施計画（施策評価シート）

1 施策の概要										
政策体系上の位置づけ	基本構想（1層）		1. 住民と行政の創合力による安全で安心なまちづくり							
	基本計画（2層）		1-（2）住民主体の防災力アップ							
	施策（3層）		1-（2）-1 自主防災会等における防災・減災活動の推進							
	プロジェクト									
担当課	総務課	担当係	危機管理係	行財政改革プラン記載の有無	無					
関係課										
施策の主な課題	<ul style="list-style-type: none"> ・全国各地で大きな災害が頻発しているが、防災意識や防災への備えが着実に進んでいるとは言い難い状況。 ・自治会役員も単年度で交代するため、その年々で取り組みや引継ぎに差 ・防災や減災への備えはこれだけやっておけば大丈夫というものではなく、継続や繰り返しの取り組みが必要 									
施策の方向性	<p>万一の災害に備え、大規模災害発生直後には住民の自助・共助が不可欠となることから、住民の防災意識向上や自主防災会の防災力アップなどに取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自助と共助を高めるため、町民一人ひとりの防災意識の向上 ・防災全体説明会（学習会）をはじめ、防災訓練・防災講座の開催 ・災害有事に機能する自主防災組織となるよう、平時から必要な行政支援 									
2 成果指標状況と成果の分析										
総合計画・実施計画等に位置づけした指標名 （指標の説明）				目標実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位等
成果指標	1	自主防災会等での防災講座の開催回数（延数）		目標値a	10	20	30	40	50	箱
				実績値b	6	10	14	18		
	指標の説明		防災講座の開催回数 （飯島町第6次総合計画）	達成率 (b/a)	60.0	50.0	46.7	45.0	0.0	%
	2	自主防災組織施設整備事業補助金の申請件数		目標値a	4	4	4	4	4	食
		実績値b	4	9	4	7				
指標の説明		補助金の申請件数	達成率 (b/a)	100.0	225.0	100.0	175.0	0.0	%	
定性的な成果 （取組を進めたことで発現した数値で測れない効果などについて記載）										
指標等の成果分析 （指標の目標値達成を阻む外的要因等を記載）		●自主防災会の代表者は、毎年変わることが多いため、防災体制の引継ぎが課題となります。								

3 施策を構成する主な事務事業の評価						
番号	事業コード	事務事業の概要 (簡素に記載)	主な取組実績	事業費(千円)		
	事業名			年度	予算額	決算額
1	1861	●防災訓練の実施と充実●指定避難所の備蓄品等の充実●町総合ハザードマップ等による防災情報の発信●自助と共助を軸とした防災意識の高揚●防災士の育成支援	●新たに飯島町災害対策本部運営訓練を実施し、実際に起こりうる事象への対応を協議する訓練を行うことで、有事の際の対応を確認●指定避難所の非常用電源未配備施設に非常用蓄電器を2基追加設置●非常用食料と備蓄水の計画的な更新●町総合ハザードマップを更新し、新たに一級河川の浸水エリアについて情報を提供	R 3	25,292	24,172
	防災対策費			R 4	16,837	16,506
	R 5			64,721	63,548	
	R 6			11,156	10,748	
	R 7			44,018		

4 施策の進捗状況			
施策の進捗状況 (指標等の成果を中心に施策を構成する事務事業評価等から総合的に評価)	区分	選択区分	進捗状況区分を選択した理由
		A. 順調に推移している (目標達成している) B. 一定の進捗がある (目標達成に向けて進捗している) C. 進捗は遅れている (目標達成が遅れる可能性がある) D. 進捗は大幅に遅れている (目標達成が難しい可能性がある)	B

5 今後の方向性			
今後の事業構成の妥当性 (手段は妥当か)	区分	選択区分	事業構成の妥当性を選択した理由及び今後の方向性
		I. 効果的な事業構成である (現状のまま継続する) II. 概ね効果的な構成である (一部見直し等の余地がある) III. あまり効果的な事業構成でない (見直し等の余地が大きい) IV. 事業構成に問題がある (抜本的な見直し等が必要である)	I

6 外部評価の所見
評価者記入

7 所見を踏まえた改善点
担当者記入

Ⅲ 申し合わせ事項

- (1) 評価には特別な知識等を要さない。
- (2) 全く知らなかった事業を評価する場合でも、審査会議（ヒアリング）において、事業の説明を聞き取り、「理解できた」「できなかった」も含め住民目線で評価する。
- (3) 特定の企業や団体、個人への利益誘導につながる行為は行わない。
- (4) 評価者が関わる事業へ、具体的な要望等を伝えない。

Ⅳ 外部評価対象施策

No.	基本 目標	政策 (基本計画)	施策	所管 係等	頁
1	1	(2) 住民主体の防災力アップ	1 自主防災会等における防災・減災活動の推進	危機管理係	7
2	8	(4) 公共施設の適正管理・有効活用	2 施設の総量を段階的に減らす取り組み	財政係	9
3	8	(1) 将来像を目指す仕組みづくり	2 プロジェクトチームの編成による施策の推進（人口増プロジェクト※）	企画係	11
4	2	(1) 低炭素・循環型のまちづくり	1 再生可能エネルギーの普及促進	環境共生 エネルギー係	13
5	3	(5) 障がいの有無にかかわらず幸せに暮らせるまちづくり	3 障がいのある人の社会参加の推進	地域福祉係	15
6	7	(2) 学校教育の充実	3 安全で安心な学校給食の推進と地域に開かれた多目的給食センターの実現	学校教育係	17
7	4	(4) 就農希望者への積極支援	2 新規就農者の積極的な受け入れ・支援	農政係	19
8	5	(3) 将来を見据えた都市づくり	2 都市計画マスタープランの更新による、総合的な都市計画の推進	都市計画係	21
9	6	(6) 将来を見据えた自治組への支援	1 将来を見据えた自治組織（区・地域づくり委員会・自治会）のあり方検討	企画係	23
10	—	飯島ルネサンス「環境循環ライフ構想」プロジェクト※	豊かな森林や水資源を安定活用する強靱化を進め、木質バイオマス発電や水力発電により資源の地産地消や自主財源を図る「飯島ルネサンス」に取り組みます。	・環境共生 エネルギー係 ・商工観光係 ・企画係	25

※分野横断的な重点施策

V 評価結果

外部評価実施日：令和7年8月25日

令和6年度実施計画（施策評価シート）

1 施策の概要										
政策体系上の位置づけ	基本構想（1層）		1. 住民と行政の創合力による安全で安心なまちづくり							
	基本計画（2層）		1-（2）住民主体の防災力アップ							
	施策（3層）		1-（2）-1 自主防災会等における防災・減災活動の推進							
	プロジェクト									
担当課	総務課		担当係	危機管理係		行財政改革プラン記載の有無		無		
関係課										
施策の主な課題	<ul style="list-style-type: none"> 全国各地で大きな災害が頻発しているが、防災意識や防災への備えが着実に進んでいるとは言い難い状況。 自治会役員も単年度で交代するため、その年々で取り組みや引継ぎに差。 防災や減災への備えはこれだけやっておけば大丈夫というのではなく、継続や繰り返しの取り組みが必要。 									
施策の方向性	<p>万一の災害に備え、大規模災害発生直後には住民の自助・共助が不可欠となることから、住民の防災意識向上や自主防災会の防災力アップなどに取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自助と共助を高めるため、町民一人ひとりの防災意識の向上 防災全体説明会（学習会）をはじめ、防災訓練・防災講座の開催 災害有事に機能する自主防災組織となるよう、平時から必要な行政支援 									
2 成果指標状況と成果の分析										
総合計画・実施計画等に位置づけした指標名（指標の説明）				目標実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位等
成果指標	1	自主防災会等での防災講座の開催回数（延数）		目標値a	10	20	30	40	50	回
				実績値b	6	10	14	18		
	2	指標の説明	防災講座の開催回数（飯島町第6次総合計画）	達成率（b/a）	60.0	50.0	46.7	45.0	0.0	%
		自主防災組織施設整備事業補助金の申請件数		目標値a	4	4	4	4	4	件
2	指標の説明	補助金の申請件数	達成率（b/a）	100.0	225.0	100.0	175.0	0.0	%	
	定性的な成果 （取組を進めたことで発現した数値で測れない効果などについて記載）									
指標等の成果分析 （指標の目標値達成を阻む外的要因等を記載）		●自主防災会の代表者は、毎年変わることが多いため、防災体制の引継ぎが課題となります。								

3 施策を構成する主な事務事業の評価						
番号	事業コード	事務事業の概要 (簡潔に記載)	主な取組実績	事業費(千円)		
	事業名			年度	予算額	決算額
1	1861	●防災訓練の実施と充実●指定避難所の備蓄品の充実●町総合ハザードマップ等による防災情報の発信●自助と共助を軸とした防災意識の高揚●防災士の育成支援	●新たに飯島町災害対策本部運営訓練を実施し、実際に起こりうる事象への対応を協議する訓練を行うことで、有事の際の対応を確認●指定避難所の非常用電源未配備施設に非常用蓄電器を2基追加設置●非常用食料と備蓄水の計画的な更新●町総合ハザードマップを更新し、新たに一級河川の浸水エリアについて情報を提供	R 3	25,292	24,172
	防災対策費			R 4	16,837	16,506
				R 5	64,721	63,548
				R 6	11,156	10,748
				R 7	44,018	

4 施策の進捗状況			
施策の進捗状況 (指標等の成果を中心に施策を構成する事務事業評価等から総合的に評価)	区分	選択区分	進捗状況区分を選択した理由
		A. 順調に推移している (目標達成している) B. 一定の進捗がある (目標達成に向けて進捗している) C. 進捗は遅れている (目標達成が遅れる可能性がある) D. 進捗は大幅に遅れている (目標達成が難しい可能性がある)	B

5 今後の方向性			
今後の事業構成の妥当性 (手段は妥当か)	区分	選択区分	事業構成の妥当性を選択した理由及び今後の方向性
		I. 効果的な事業構成である (現状のまま継続する) II. 概ね効果的な構成である (一部見直し等の余地がある) III. あまり効果的な事業構成でない (見直し等の余地が大きい) IV. 事業構成に問題がある (抜本的な見直し等が必要である)	II

6 外部評価の所見
●自主防災会等による防災・減災活動は、その地域固有の課題や資源を最大限活用しながら、多様な主体との連携と継続的改善を図ることによって一層効果的となる。この点を踏まえ、引き続き、支援策や啓発活動の展開を望む。

7 所見を踏まえた改善点
●いただいた所見は、町が目指すべき方向性を示してくださったものと受け止めております。自主防災会や各種団体等による地域の特徴を生かした共助の醸成を積み重ねると共に、継続的な支援策等を通じて改善を重ね、飯島町が災害に強く、安心して暮らせる町となるよう、引き続きで取り組んでまいります。

令和6年度実施計画（施策評価シート）

1 施策の概要											
政策体系上の位置づけ	基本構想（1層）		8. 将来像を実現する創造力にあふれた行政基盤づくり								
	基本計画（2層）		8-（4）公共施設の適正管理・有効活用								
	施策（3層）		8-（4）-2 施設の総量を段階的に減らす取り組み								
	プロジェクト										
担当課	企画政策課	担当係	財政係	行財政改革プラン記載の有無	無						
関係課	全課										
施策の主な課題	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの公共施設等が、近い将来一斉に改修・更新時期を迎え、多額の費用が必要になると見込まれる。 ・人口減少および少子高齢化に伴う財政状況の悪化により、固定費ともいえる公共施設等の更新に係る費用を、適正な水準に抑えることが喫緊の課題となっている。 										
施策の方向性	<p>将来の人口の状況を見据えた中で、公共施設の維持管理や整備に必要な費用が住民の大きな負担とならないように、公共施設の有効活用や維持管理コストの効率化、施設の総量を段階的に減らす取り組みを進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「飯島町公共施設等総合管理計画」及び各個別施設計画・長寿命化計画のもと、長期的な視点をもって、利活用の促進や統廃合・長寿命化の施策を計画的に行い、公共施設の更新等に係る財政負担を軽減 ・平準化するとともに、住民ニーズを的確に捉え、全庁的、総合的な管理を推進 										
2 成果指標状況と成果の分析											
総合計画・実施計画等に位置づけした指標名 (指標の説明)				目標実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位等	
成果指標	1	公共建築物延床面積の抑制（延数）		目標値a	76,064	75,358	75,298	74,227	74,227	m ²	
				実績値b	74,128	70,530	70,460	69,330			
	指標の説明		公共建築物延床面積を削減した後の面積 (飯島町公共施設等総合管理計画) ※令和3年実績値bは、令和3年決算書数値に修正（飯島町第6次総合計画）		達成率 (b/a)	97.45	93.59	93.57	93.40	0	%
	2		指標の説明		目標値a						
				実績値b							
				達成率 (b/a)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		
定性的な成果 (取組を進めたことで発現した数値で測れない効果などについて記載)											
指標等の成果分析 (指標の目標値達成を阻む外的要因等を記載)				<ul style="list-style-type: none"> ●公共建築物の総量削減が目標となっているが、各所管課における除却や統廃合の検討・実施が計画どおり進むよう実施計画や予算編成の折に調整を行い、全体の進捗管理に努めます。 ●令和5年度実績値b(70,460m²)－令和6年度削減実績(1,130m²)＝69,330m² ●【令和6年度実績】 <ul style="list-style-type: none"> ①豊岡住宅(△104.13m²) ②舟久保住宅(△848.02m²) ③緑風荘(△119.4m²) ④千人塚公園旧スケート場受付棟(△46.37m²) ⑤新屋敷教員住宅(△60.8m²) ⑥坊主平キャンプ場トイレ・シャワー・炊事場(+48.25m²) 合計△1,130.47m² 							

3 施策を構成する主な事務事業の評価						
番号	事業コード	事務事業の概要 (簡素に記載)	主な取組実績	事業費(千円)		
	事業名			年度	予算額	決算額
1				R 3		
				R 4		
				R 5		
				R 6		
				R 7		

4 施策の進捗状況			
施策の 進捗状況 (指標等の成果を 中心に施策を構成 する事務事業評価 等から総合的に評 価)	区分	選択区分	進捗状況区分を選択した理由
		A. 順調に推移している (目標達成している) B. 一定の進捗がある (目標達成に向けて進捗している) C. 進捗は遅れている (目標達成が遅れる可能性がある) D. 進捗は大幅に遅れている (目標達成が難しい可能性がある)	A

5 今後の方向性			
今後の 事業構成の 妥当性 (手段は妥当か)	区分	選択区分	事業構成の妥当性を選択した理由及び今後の方向性
		I. 効果的な事業構成である (現状のまま継続する) II. 概ね効果的な構成である (一部見直し等の余地がある) III. あまり効果的な事業構成でない (見直し等の余地が大きい) IV. 事業構成に問題がある (抜本的な見直し等が必要である)	I

6 外部評価の所見
●「段階的かつ計画的」に進めながらも、町民理解・合意形成などによって、安全・安心・快適さを損ねない施策展開を望む。

7 所見を踏まえた改善点
●公共施設の除却や統廃合等を実施する際には、地域住民や関係者の皆様への丁寧な説明を行い計画的に進めてまいります。

令和6年度実施計画（施策評価シート）

1 施策の概要										
政策体系上の位置づけ	基本構想（1層）		8. 将来像を実現する創造力にあふれた行政基盤づくり							
	基本計画（2層）		8-（1）将来像を目指す仕組みづくり							
	施策（3層）		8-（1）-2 プロジェクトチームの編成による施策の推進							
	プロジェクト		2.人口増プロジェクト							
担当課	企画政策課	担当係	企画調整係	行財政改革プラン記載の有無	有					
関係課	全課									
施策の主な課題	人口増（人口減少）対策									
施策の方向性	<p>総合計画などの長期計画の着実な運用を図ることで、社会の変化に対応できる、将来にわたって暮らしやすい持続可能なまちづくりを進めます。また、住民ニーズの多様化に応えるため分野を超えて施策を実現していく仕組みをつくります。</p> <p>・プロジェクト・チームの設置及び運営に関する規程、飯島町第6次総合計画に掲げるプロジェクト推進のためのプロジェクトチーム設置要領に基づきプロジェクトチームを設置し、「飯島町第6次総合計画」「飯島町人口ビジョン」に基づく、人口増（人口減少）対策を推進</p>									
2 成果指標状況と成果の分析										
総合計画・実施計画等に位置づけした指標名 （指標の説明）				目標実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位等
成果指標	1	プロジェクトチームによる問題解決件数（延数）		目標値a	0	1	2	3	4	件
				実績値b	5	17	18	18		
	2	指標の説明 施策の事業化（新規・拡充等）件数 （飯島町第6次総合計画）	達成率 (b/a)	#DIV/0!	1700.0	900.0	600.0	0.0	%	
			目標値a							
				実績値b						
				達成率 (b/a)						
定性的な成果 （取組を進めたことで発現した数値で測れない効果などについて記載）		<p>●飯島町第6次総合計画に基づく「人口増プロジェクト」の推進について、各ワーキンググループ会議やオンライン研修会等に参加し、各自治体の事例や課題を分析することができました。</p> <p>>人口増プロジェクト全体会議（2回、オンライン研修会合）</p> <p>>情報発信・魅力向上ワーキンググループ会議（1回）</p> <p>>定住促進ワーキンググループ会議（1回）</p> <p>>子育て・婚活ワーキンググループ会議（1回）</p> <p>>保育・教育環境ワーキンググループ会議（2回）</p>								
指標等の成果分析 （指標の目標値達成を阻む外的要因等を記載）		<p>●令和7年度の新規事業はありませんでしたが、【子育て・婚活】産後ケア費助成金を拡充しました。</p> <p>（参考）令和6年度：0件 令和5年度：1件 令和4年度：12件 令和3年度：5件</p>								

3 施策を構成する主な事務事業の評価						
番号	事業コード	事務事業の概要 (簡素に記載)	主な取組実績	事業費(千円)		
	事業名			年度	予算額	決算額
1				R3		
				R4		
				R5		
				R6		
				R7		

4 施策の進捗状況			
施策の進捗状況 (指標等の成果を中心に施策を構成する事務事業評価等から総合的に評価)	区分	選択区分	進捗状況区分を選択した理由
		A. 順調に推移している (目標達成している) B. 一定の進捗がある (目標達成に向けて進捗している) C. 進捗は遅れている (目標達成が遅れる可能性がある) D. 進捗は大幅に遅れている (目標達成が難しい可能性がある)	B

5 今後の方向性			
今後の事業構成の妥当性 (手段は妥当か)	区分	選択区分	事業構成の妥当性を選択した理由及び今後の方向性
		I. 効果的な事業構成である (現状のまま継続する) II. 概ね効果的な構成である (一部見直し等の余地がある) III. あまり効果的な事業構成でない (見直し等の余地が大きい) IV. 事業構成に問題がある (抜本的な見直し等が必要である)	II

6 外部評価の所見
●引き続き、影響や課題を分析しつつ、飯島町人口ビジョンに定める「人口減少問題に取り組む基本的視点」の①出生数を増やすこと②若い世代を中心とした転出の抑制と転入の促進を図ることの推進を。また、適応策を構築しながら、限られた財源で持続できる行政サービスを望む。□

7 所見を踏まえた改善点
●出生数を増やす施策と転入促進・転出抑制を同時並行で推進することで、人口構造の改善と地域の活力の両立を図っていきます。また、長期的な視点と現場の知見を生かした優先順位づけ、そして官民の連携による新たな資源の活用によって、限られた財源の中でも持続可能な行政サービスを実現できるように取組んでまいります。

令和6年度実施計画（施策評価シート）

1 施策の概要											
政策体系上の位置づけ	基本構想（1層）		2.美しく快適な暮らしの環境を将来へつなぐ								
	基本計画（2層）		2-（1）低炭素・循環型のまちづくり								
	施策（3層）		2-（1）-1 再生可能エネルギーの普及促進								
	プロジェクト		1. 飯島ルネサンス「環境循環ライフ構想」プロジェクト								
担当課	住民税務課		担当係	生活環境係			行財政改革プラン記載の有無	無			
関係課	企画政策課、建設水道課、産業振興課、地域創造課										
施策の主な課題	<ul style="list-style-type: none"> ・再生可能エネルギーの導入に向けた目標設定と施策の検討が必要 ・野立てによる太陽光発電施設の乱立抑制 										
施策の方向性	<p>美しい自然にはぐくまれた快適で豊かなくらしを実現し、将来の世代に引き継いでいけるよう、省エネルギーや再生可能エネルギーの普及促進をはじめとする環境施策を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の策定に向けた、再エネ導入戦略の検討 ・地球温暖化対策設備設置補助金の新設（既設の太陽光発電施設設置事業及び太陽熱利用システム設置補助は、新設する地球温暖化対策設備設置補助金に統合） 										
2 成果指標状況と成果の分析											
総合計画・実施計画等に位置づけした指標名 (指標の説明)				目標実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位等	
成果指標	1	太陽光発電システム設置補助事案件数（延数）		目標値a	332	343	354	365	376	件	
				実績値b	327	333	348	355			
	2	指標の説明	家庭用発電量10kw以下の設置延数（飯島町第6次総合計画）		達成率(b/a)	98.5	97.1	98.3	97.3	0.0	%
		指標の説明			目標値a						
				実績値b							
				達成率(b/a)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		
定性的な成果 (取組を進めたことで発現した数値で測れない効果などについて記載)											
指標等の成果分析 (指標の目標値達成を阻む外的要因等を記載)				<p>●一般家庭への太陽光発電システム設置件数は7件に留まったが、蓄電システムの設置は11件であり、うち既存住宅が9件であったことから、電力代金の高騰も相まって卒FITを迎えた既存住宅において電力の自家消費が進んでいると分析する。</p>							

3 施策を構成する主な事務事業の評価						
番号	事業コード	事務事業の概要 (簡潔に記載)	主な取組実績	事業費(千円)		
	事業名			年度	予算額	決算額
1	3213	●飯島町新エネルギービジョン改訂に向け、策定委員会を設置して検討 ●地球温暖化対策実行計画(区域編)の策定について研究	●町内すべての特定排出者4社と町において「飯島町カーボンニュートラルに向けた連携協定」を締結(令和7年1月30日～2月3日) ●第1回いいじま環境フェアを開催し、カーボンニュートラル特別対談を行った。(令和7年2月1日) ●地球温暖化対策設備設置補助を行った。(太陽光発電7件、蓄電池11件、V2H1件、太陽熱1件) ●地球温暖化対策実行計画策定委員会において地域脱炭素移行・再エネ推進事業計画を検討し、環境省へ重点対策加速化事業の公募申請を行った。(策定委員会:令和6年7月18日、11月28日、令和7年2月26日) ●地球温暖化対策実行計画(事務事業編)を改定し、政府目標との整合を図った。(令和7年3月)	R3	5,466	5,083
				R4	5,284	4,749
				R5	14,280	14,147
				R6	5,342	5,048
				R7	5,748	
	新エネルギー普及 対策事業					

4 施策の進捗状況			
施策の 進捗状況 (指標等の成果を 中心に施策を構成 する事務事業評価 等から総合的に評 価)	区分	選択区分	進捗状況区分を選択した理由
		A. 順調に推移している (目標達成している) B. 一定の進捗がある (目標達成に向けて進捗している) C. 進捗は遅れている (目標達成が遅れる可能性がある) D. 進捗は大幅に遅れている (目標達成が難しい可能性がある)	B

5 今後の方向性			
今後の 事業構成の 妥当性 (手段は妥当か)	区分	選択区分	事業構成の妥当性を選択した理由及び今後の方向性
		I. 効果的な事業構成である (現状のまま継続する) II. 概ね効果的な構成である (一部見直し等の余地がある) III. あまり効果的な事業構成でない (見直し等の余地が大きい) IV. 事業構成に問題がある (抜本的な見直し等が必要である)	II

6 外部評価の所見
●目標に対して、一定の進捗を認める。今後は蓄電池についての指標を追加する等、現状に即して目標も発展させていくこと。また、補助事業について住民への周知に更に努めることを望む。

7 所見を踏まえた改善点
●現行の成果指標は飯島町カーボンニュートラル実行計画が策定される以前に設定したものであるため、実行計画と整合した指標への見直しを検討します。 ●補助事業の周知については、住民の他に町内建設業者、主要住宅メーカーへの周知も検討します。

令和6年度実施計画（施策評価シート）

1 施策の概要										
政策体系上の位置づけ	基本構想（1層）		3. 誰もが健康で居場所と出番があり共に支え合える地域づくり							
	基本計画（2層）		3-（5）障がいの有無にかかわらず幸せに暮らせるまちづくり							
	施策（3層）		3-（5）-3 障がいのある人の社会参加の推進							
	プロジェクト									
担当課	健康福祉課		担当係	地域福祉係		行財政改革プラン記載の有無		無		
関係課										
施策の主な課題	障がいのある人が、地域で生活していくには、地域で安心して社会参加できる場所や支える取組の必要性が生じています。									
施策の方向性	・多様な活動に参加する機会の確保等を通じた社会参加の促進									
2 成果指標状況と成果の分析										
総合計画・実施計画等に位置づけした指標名 (指標の説明)				目標実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位等
成果指標	1	地域活動支援センター月間利用者数		目標値a	193	194	195	196	197	人
				実績値b	199	193	165	176		
	2	在宅で生活する障がい者の社会参加・就労支援・居場所であるセンターの利用者数 (飯島町第6次総合計画)		達成率(b/a)	103.1	99.5	84.6	89.8	0.0	%
				目標値a						
				実績値b						
				達成率(b/a)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	%
定性的な成果 (取組を進めたことで発現した数値で測れない効果などについて記載)										
指標等の成果分析 (指標の目標値達成を阻む外的要因等を記載)										

3 施策を構成する主な事務事業の評価						
番号	事業コード	事務事業の概要 (簡潔に記載)	主な取組実績	事業費(千円)		
	事業名			年度	予算額	決算額
1	2252	●飯島町障がい者地域活動支援センターや すらぎを指定管理制度により管理●在宅障 がい者に対する各種補助事業を実施●在宅 障がい者に対する福祉金や福祉タクシー券 の交付を実施	●飯島町障がい者にやさしい住宅改 良促進事業補助金の申請なし。●飯 島町福祉金の障がい福祉金は、278件 支給●飯島町心身障がい児(者)タイ ムケア事業は、12人利用●障がい児 者に対する飯島町福祉タクシー券 は、3人に交付●飯島町介護慰労金 は、12件支給●飯島町障がい者地域 活動支援センターやすらぎは、指定 管理制度により業務を委託して管理	R 3	14,442	14,084
	在宅障がい者福祉 事業			R 4	16,779	16,345
				R 5	16,765	16,288
				R 6	16,864	16,485
				R 7	18,495	
2	2255	●障害者自立支援法に基づく各種自立支援 給付、地域生活支援事業の提供●障害者相 談支援業務を委託して実施	●障害福祉業務総合支援ソフトを使 い、全ての障害福祉サービスの給付 を確認●障害福祉サービス等を102人 に給付●地域生活支援事業の日常生 活用具を134件、移動支援を20人に給 付●自立支援医療(更生医療・育成 医療)給付事業を2件給●補装具費 支給事業を12件支給●手話通訳・要 約筆記者派遣事業業務を委託して実 施●手話通訳奉仕員等養成講座開設 事業業務を委託して実施●障害者相 談支援業務を委託して実施	R 3	256,078	255,949
	障がい者自立支援 事業			R 4	251,933	251,441
				R 5	253,114	252,696
				R 6	270,182	269,786
				R 7	262,190	
4 施策の進捗状況						
施策の 進捗状況 (指標等の成果を 中心に施策を構成 する事務事業評価 等から総合的に評 価)	区分	選択区分	進捗状況区分を選択した理由			
	A. 順調に推移している (目標達成している) B. 一定の進捗がある (目標達成に向けて進捗している) C. 進捗は遅れている (目標達成が遅れる可能性がある) D. 進捗は大幅に遅れている (目標達成が難しい可能性がある)	C	●飯島町障がい者地域活動支援センターやすらぎに より、創作的活動及び生産活動の機会の提供などの 便宜が供与されていますが、新規利用者が増えてい ないため。			
5 今後の方向性						
今後の 事業構成の 妥当性 (手段は妥当か)	区分	選択区分	事業構成の妥当性を選択した理由及び今後の方向性			
	I. 効果的な事業構成である (現状のまま継続する) II. 概ね効果的な構成である (一部見直し等の余地がある) III. あまり効果的な事業構成でない (見直し等の余地が大きい) IV. 事業構成に問題がある (抜本的な見直し等が必要である)	I	●障害者総合支援法に基づくサービスの支給や飯島 町障がい者地域活動支援センターの運営は継続する 必要があります。			
6 外部評価の所見						
●指標については、利用者数ではなくセンター利用者の就業者数に変更するなど、目標に即した検討を行うこと。利用者を増やすことよりも、どのような取り組みを行うかが肝要であると考え。幅広い活用を望む。						
7 所見を踏まえた改善点						
●地域活動支援センターの月間利用者数のみでこの施策の成果とすることは難しいため、別の指標を新たに追加することを検討いたします。まずは、地域活動支援センターへ必要な方がつながり、次の一歩へ踏み出せることを第一に今後も取り組んでまいります。						

令和6年度実施計画（施策評価シート）

1 施策の概要											
政策体系上の位置づけ	基本構想（1層）		7. 「子どもの元気」と「学びの力」でいきいき豊かな暮らし								
	基本計画（2層）		7-（2）学校教育の充実								
	施策（3層）		7-（2）-3 安全で安心な学校給食の推進と地域に開かれた多目的給食センターの実現								
	プロジェクト										
担当課	教育委員会	担当係	こども室	行財政改革プラン記載の有無	無						
関係課	健康福祉課、産業振興課										
施策の主な課題	<ul style="list-style-type: none"> ・安全で安心な学校給食の提供 ・アレルギー対応給食の提供 ・子ども、地域の方への食育 ・災害時応急給食の提供 										
施策の方向性	<p>学校教育を通じて、子どもたちが、「勉強して考える力」「内面を豊かにする力」「たくましく生きる力」をバランス良く身に付けられる環境の充実に努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衛生基準に適合した環境で、給食事故の起こらないように調理、提供 ・アレルギー対応給食の強化 ・災害対応体制整備 ・調理過程に触れた食育、地域の方の喫食による孤食の解消とバランスの良い食事への理解 										
2 成果指標状況と成果の分析											
総合計画・実施計画等に位置づけした指標名 (指標の説明)				目標実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位等	
成果指標	1	給食事故件数（年）		目標値a	0	0	0	0	0	件	
				実績値b	1	1	1	1			
	指標の説明		学校給食提供における、食中毒、異物混入等の件数	達成率(b/a)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	%
	2			目標値a							
		実績値b									
				達成率(b/a)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	%	
定性的な成果 (取組を進めたことで発現した数値で測れない効果などについて記載)											
指標等の成果分析 (指標の目標値達成を阻む外的要因等を記載)		<p>●調理された給食が給食センターから学校へ渡った後に事故が起こる場合が想定されるので、給食センターだけでなく学校での事故防止も徹底します。</p>									

3 施策を構成する主な事務事業の評価						
番号	事業コード	事務事業の概要 (簡潔に記載)	主な取組実績	事業費(千円)		
	事業名			年度	予算額	決算額
1	5741	●安心・安全な給食の提供●食材調達や地元食材の調達について研究●車両、備品等の整備	●新しい給食センターとして三年目となり、一年をとおして安心・安全な給食を提供地産地消を常に意識し、可能な限り地元食材を使用●食育への理解を深めるため、給食だより等で情報発信●配送車や備品等の管理を日常的に行い、適切な給食センター運営に努めた。●学校給食費負担軽減事業(学校給食会計へ4,164千円交付、うち3,304千円が物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金分)	R 3	720,848	712,654
				R 4	82,961	78,321
				R 5	27,930	25,384
				R 6	26,307	25,617
				R 7	37,993	

4 施策の進捗状況			
施策の進捗状況 (指標等の成果を中心に施策を構成する事務事業評価等から総合的に評価)	区分	選択区分	進捗状況区分を選択した理由
		A. 順調に推移している (目標達成している) B. 一定の進捗がある (目標達成に向けて進捗している) C. 進捗は遅れている (目標達成が遅れる可能性がある) D. 進捗は大幅に遅れている (目標達成が難しい可能性がある)	B

5 今後の方向性			
今後の事業構成の妥当性 (手段は妥当か)	区分	選択区分	事業構成の妥当性を選択した理由及び今後の方向性
		I. 効果的な事業構成である (現状のまま継続する) II. 概ね効果的な構成である (一部見直し等の余地がある) III. あまり効果的な事業構成でない (見直し等の余地が大きい) IV. 事業構成に問題がある (抜本的な見直し等が必要である)	II

6 外部評価の所見
●多目的給食センターとして目指していくところを明確に示すこと。また、災害時などに備えた役割についての早期の検討を望む。

7 所見を踏まえた改善点
●多目的給食センターとしての活用 安心安全な学校給食提供機能を維持しつつ、地域住民向けの給食試食会などの機会に食育活動や住民同士の交流の場を設けるなど、多目的に活用できる運営の検討を進めてまいります。 ●災害時対応の早期検討 飯島町地域防災計画における食料品の備蓄・調達計画に基づき、給食センターの活用が検討項目として挙げられています。この計画と連携させ、災害時の非常食提供拠点としての具体的な役割やマニュアル・訓練計画の策定を早期に進めてまいります。

令和6年度実施計画（施策評価シート）

1 施策の概要										
政策体系上の位置づけ	基本構想（1層）		4. 地域特性を生かした産業の創造と振興のまちづくり							
	基本計画（2層）		4-（4）就農希望者への積極支援							
	施策（3層）		4-（4）-2 新規就農者の積極的な受け入れ・支援							
	プロジェクト									
担当課	産業振興課	担当係	農政係	行財政改革プラン記載の有無	無					
関係課										
施策の主な課題	<ul style="list-style-type: none"> ・農家の高齢化 ・地域の農業の担い手づくり 									
施策の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・農家の高齢化 ・地域の農業の担い手づくり 									
2 成果指標状況と成果の分析										
総合計画・実施計画等に位置づけした指標名 （指標の説明）				目標実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位等
成果指標	1	【再掲】新規就農者数（延数）		目標値a	8	9	10	11	12	人
				実績値b	4	4	4	4		
	2	指標の説明 新規に就農者した人の数 （飯島町第6次総合計画）		達成率 (b/a)	50.0	63.6	40.0	36.4	0.0	%
				目標値a						
指標の説明				実績値b						
				達成率 (b/a)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
定性的な成果 （取組を進めたことで発現した数値で測れない効果などについて記載）										
指標等の成果分析 （指標の目標値達成を阻む外的要因等を記載）		<ul style="list-style-type: none"> ●人件費や光熱水費、燃料代の高騰に加え、金属の高騰により新規の施設園芸を断念する農業者が多い状況であり、収益性のある就農の形を組み立てて行く事が年々難しくなって来ています。 ●全国・全分野的に人手不足の状況が続いており、国県等とも協力して、次の担い手となる世代に「農業」を選んでもらう工夫や取り組みが必要です。 								

3 施策を構成する主な事務事業の評価						
番号	事業コード	事務事業の概要 (簡潔に記載)	主な取組実績	事業費(千円)		
	事業名			年度	予算額	決算額
1	3213	<ul style="list-style-type: none"> ●就農5年後の農業者についても圃場巡回等状況の把握と支援の検討を実施 ●新規就農者の増加 	<ul style="list-style-type: none"> ●昨年に続き新規就農者として営農を行っている経営体については、対象となる経営体全てに支援を行う事ができた。●新たに新規就農者として経営開始する経営体が出てこず、新規がゼロとなった。経営開始に向けて長野県の里親研修制度を活用し研修に入っている方がいるので、研修完了後に滞りなく新規就農者となれるように支援を進めて行きたい。●認定新規就農者については全経営体が国の支援制度の活用(5経営体:9,000千円) ●認定新規就農者全経営体に対して、夏季の圃場巡回と冬季の面談を実施 	R3	18,130	18,130
	新規就農・経営継承総合支援事業			R4	15,930	15,750
2				R5	12,000	12,000
				R6	9,000	9,000
				R7	7,500	

4 施策の進捗状況			
施策の進捗状況 (指標等の成果を中心に施策を構成する事務事業評価等から総合的に評価)	区分	選択区分	進捗状況区分を選択した理由
		<ul style="list-style-type: none"> A. 順調に推移している (目標達成している) B. 一定の進捗がある (目標達成に向けて進捗している) C. 進捗は遅れている (目標達成が遅れる可能性がある) D. 進捗は大幅に遅れている (目標達成が難しい可能性がある) 	B

5 今後の方向性			
今後の事業構成の妥当性 (手段は妥当か)	区分	選択区分	事業構成の妥当性を選択した理由及び今後の方向性
		<ul style="list-style-type: none"> I. 効果的な事業構成である (現状のまま継続する) II. 概ね効果的な構成である (一部見直し等の余地がある) III. あまり効果的な事業構成でない (見直し等の余地が大きい) IV. 事業構成に問題がある (抜本的な見直し等が必要である) 	II

6 外部評価の所見
<ul style="list-style-type: none"> ●令和3年度より数年間実績が延びておらず、就農環境や生活が成り立つシミュレーションを示すなど、積極的な取り組みを。

7 所見を踏まえた改善点
<ul style="list-style-type: none"> ●町の基本方針として、生計が立てられる道筋を作る事を第一優先としており、様々な研修・就農パターン、国・県・町の支援制度及び農業経営指標等を経営リスクの含めて生活が成り立つよう説明し、応対しております。今後は、これらの情報をホームページ等あらゆる媒体で発信し、事前により生活が成り立つシミュレーションの検討ができるよう対応してまいります。

令和6年度実施計画（施策評価シート）

1 施策の概要											
政策体系上の位置づけ	基本構想（1層）		5.暮らしを支える強靱で快適なライフラインの創造								
	基本計画（2層）		5-（3）将来を見据えた都市づくり								
	施策（3層）		5-（3）-2 都市計画マスタープランの更新による、総合的な都市計画の推進								
	プロジェクト										
担当課	建設水道課	担当係	調査計画係	行財政改革プラン記載の有無	無						
関係課											
施策の主な課題	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少や少子高齢社会への対応 ・既往市街地の空洞化の抑制 ・適正な土地利用の促進や必要な都市施設の整備 ・行政区単位での地域コミュニティの維持 										
施策の方向性	<p>社会経済情勢の変化に対応した暮らしやすいまちづくりを推進するため、将来を見据えた都市計画等を構築し計画的なまちづくりを進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市計画マスタープランに基づく土地利用の誘導 ・立地適正化計画によるコンパクト・プラス・ネットワークの推進 										
2 成果指標状況と成果の分析											
総合計画・実施計画等に位置づけした指標名 (指標の説明)				目標実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位等	
成果指標	1	【再掲】現都市計画の見直し案の作成及び計画決定		目標値a	-	-	-	1	-	件	
				実績値b	-	-	-	0			
	2	指標の説明	計画を策定した件数 (飯島町第6次総合計画)		達成率 (b/a)	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	0	#VALUE!	%
				目標値a							
				実績値b							
		指標の説明			達成率 (b/a)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
定性的な成果 (取組を進めたことで発現した数値で測れない効果などについて記載)											
指標等の成果分析 (指標の目標値達成を阻む外的要因等を記載)											

3 施策を構成する主な事務事業の評価						
番号	事業コード	事務事業の概要 (簡素に記載)	主な取組実績	事業費(千円)		
	事業名			年度	予算額	決算額
1	4411	<ul style="list-style-type: none"> ● 庁内検討委員会や外部検討の策定委員会を設置し、都市計画マスタープラン改定と立地適正化計画の策定を進める。 ● 景観計画に基づき、町に合ったきめ細かい景観づくりを町民・事業者と力を合わせて進める。 ● 条例に基づく、住宅建設や看板設置の審査指導 	<ul style="list-style-type: none"> ● 町の将来を担う若者の意見を反映した計画を策定するため、中学生アンケート調査を実施 ● 住民の皆様にもちづくりに対するご意見やご提案を伺うことを目的に、住民ワークショップを開催 ● 第2回庁内検討委員会を開催し、関係各課と計画案等の検討 ● 第1回計画策定委員会を開催し、学識経験者や公募町民・関係団体と計画案等の検討 ● 街路灯のLED化及び塗装改修工事を実施 ● 特定用途制限地域の設定に向けて、適用区域及び制限等の検討 	R 3	311	190
				R 4	421	326
				R 5	5,697	5,244
				R 6	14,805	14,334
				R 7	13,404	
	都市計画総務費					

4 施策の進捗状況			
施策の進捗状況 (指標等の成果を中心に施策を構成する事務事業評価等から総合的に評価)	区分	選択区分	進捗状況区分を選択した理由
		<ul style="list-style-type: none"> A. 順調に推移している (目標達成している) B. 一定の進捗がある (目標達成に向けて進捗している) C. 進捗は遅れている (目標達成が遅れる可能性がある) D. 進捗は大幅に遅れている (目標達成が難しい可能性がある) 	B

5 今後の方向性			
今後の事業構成の妥当性 (手段は妥当か)	区分	選択区分	事業構成の妥当性を選択した理由及び今後の方向性
		<ul style="list-style-type: none"> I. 効果的な事業構成である (現状のまま継続する) II. 概ね効果的な構成である (一部見直し等の余地がある) III. あまり効果的な事業構成でない (見直し等の余地が大きい) IV. 事業構成に問題がある (抜本的な見直し等が必要である) 	II

6 外部評価の所見
<ul style="list-style-type: none"> ● 定住促進・居住環境・公共交通など、さまざまな面からも検討を。

7 所見を踏まえた改善点
<ul style="list-style-type: none"> ● 庁内検討委員会(関係係長による庁内検討組織)で分野横断的に検討を進めていますので、引き続き様々な面から検討いたします。今後は、住民説明会やパブリックコメントなど、多くの住民の皆様からもご意見を聞く機会を設け、計画に反映していく予定です。

令和6年度実施計画（施策評価シート）

1 施策の概要										
政策体系上の位置づけ	基本構想（1層）		6. 魅力向上で住みたい・住み続けたい地域づくり							
	基本計画（2層）		6-（6） 将来を見据えた自治組織への支援							
	施策（3層）		6-（6）-1 将来を見据えた自治組織（区・地域づくり委員会・自治会）のあり方検討							
	プロジェクト									
担当課	地域創造課	担当係	地域係	行財政改革プラン記載の有無	有					
関係課	全課									
施策の主な課題	少子高齢化による自治組織の役員選出や運営等、自治組織を中心としたコミュニティ活動の衰退が課題である。									
施策の方向性	住民が互いに知恵を出し合いながら、地域の活性化や課題解決に取り組める、将来にわたって暮らしやすい地域を目指し、自治組織や地域の団体の取り組みを支援していきます。									
2 成果指標状況と成果の分析										
総合計画・実施計画等に位置づけした指標名 (指標の説明)				目標実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位等
成果指標	1	指標の説明	目標値a							
			実績値b							
	達成率 (b/a)		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	%		
	2	指標の説明	目標値a							
実績値b										
達成率 (b/a)		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!				
定性的な成果 (取組を進めたことで発現した数値で測れない効果などについて記載)			<ul style="list-style-type: none"> ●全自治会から資料（総会資料・規約等）を収集し、まとめて分析したものを公表して自治会内の負担軽減の参考にしていただくとともに、地域活性化につながる事業を起こしたい団体に協働のまちづくり補助金を交付して、課題の解決を図ることができました。 ●「住みよいいいじま自治会紹介」チラシや各自治会の加入金・年会費を調査、集計し情報共有を図ったことにより、他自治会の例を参考として、自治会主体にて改善を模索するなどの動きが見られました。 							
指標等の成果分析 (指標の目標値達成を阻む外的要因等を記載)										

3 施策を構成する主な事務事業の評価						
番号	事業コード	事務事業の概要 (簡潔に記載)	主な取組実績	事業費(千円)		
	事業名			年度	予算額	決算額
1	1192	●自治会未加入者の実態を把握して加入率の向上に繋げる。●協働のまちづくり推進事業補助金の申請団体が特徴を生かし自主性が発揮されるよう、申請内容を精査し補助金の交付拡充を図る。	●アンケート等を実施しその結果を公表することにより、自治会間での情報共有を図った。●協働のまちづくりを推進する団体からの補助金申請が10件と目標値の10件を達成した。(令和5年度申請件数:12件) ●「住みよい地域推進費」(町各部署の補助金一括交付制度)を交付●新任自治会長同士の情報交換会を実施●「住みよいいいじま自治会紹介」チラシの作成・更新、配布し転入者の自治会加入促進を図った。●自治会の総会資料や規約を収集し分析することで、各自治会の加入金や年会費、役員構成等の情報共有を図った。●各地区支援員による夏祭り、防災訓練、運動会、イルミネーション等の主催援助を行った。●町内の団体やグループに3種類のの花の苗無料配布を実施●広く町民参加を促すイベントに主眼を置いた事業や、町民独自の取り組みに関する事業について申請があった。●新規で事業を計画する団体のほか、前年事業の発展を目指す団体からの申請もあり、幅広く補助金交付の拡充を図った。	R3	26,086	25,569
				R4	30,169	28,501
				R5	35,089	32,826
				R6	32,923	31,102
				R7	28,416	
4 施策の進捗状況						
施策の進捗状況 (指標等の成果を中心に施策を構成する事務事業評価等から総合的に評価)	区分	選択区分	進捗状況区分を選択した理由			
	A. 順調に推移している (目標達成している) B. 一定の進捗がある (目標達成に向けて進捗している) C. 進捗は遅れている (目標達成が遅れる可能性がある) D. 進捗は大幅に遅れている (目標達成が難しい可能性がある)	B	●アンケート実施・結果公表、自治会紹介チラシの作成、住みよい地域推進費の交付などの取組に加え自治会長からの相談窓口体制を強化したことで、自治会長の負担軽減につながったため。			
5 今後の方向性						
今後の事業構成の妥当性 (手段は妥当か)	区分	選択区分	事業構成の妥当性を選択した理由及び今後の方向性			
	I. 効果的な事業構成である (現状のまま継続する) II. 概ね効果的な構成である (一部見直し等の余地がある) III. あまり効果的な事業構成でない (見直し等の余地が大きい) IV. 事業構成に問題がある (抜本的な見直し等が必要である)	II	●さらなる自治会活動の負担軽減につなげるため、自治会長同士の情報交換の場を引き続き町で企画する一方、自治組織の在り方自体の研究を行う組織を立ち上げます。			
6 外部評価の所見						
●若い人が加入しやすい自治組織のあり方検討や場づくりを。また、あり方検討にあたっては自治会の意見をよく聴き、時間を掛けて検討を。						
7 所見を踏まえた改善点						
●自治組織の抱える課題の解決及び維持、存続等について、住民自ら幅広く検討を行う「飯島町自治組織あり方検討委員会」の設置を今後予定しています。自治会の意見をよく聴き、時間を掛けて調査及び検討を行っていきます。						

令和6年度実施計画（施策評価シート）

1 施策の概要									
政策体系上の位置づけ	基本構想（1層）	—							
	基本計画（2層）	—							
	施策（3層）	—							
	プロジェクト	1. 飯島ルネサンス「環境循環ライフ構想」プロジェクト							
担当課	地域創造課	担当係	環境循環ライフ構想推進室	行財政改革プラン記載の有無	有				
関係課	企画政策課、住民税務課、産業振興課、建設水道課								
施策の主な課題	この土地ならではの資源を生かし、産業を育てるとともに、人間本来の営みや人と人との頼り合い、心の平穏を育み、経済活動を豊かに暮らせるまちの構築 解決に向けて取り組む地域課題「自主財源の確保」「脱炭素」「災害への備え」「山林の荒廃」「農業の担い手不足」「農村風景の保全」「地域活力の低下」「人口減少」								
施策の方向性	地域の資産・資源に価値を見出し、経済性の伴った事業を展開することで、環境・経済・社会の課題の同時解決を目指します。地域資源を活かし、消滅可能性都市から子どもたちが誇れる持続可能なまちを創っていきます。								
2 成果指標状況と成果の分析									
総合計画・実施計画等に位置づけした指標名 (指標の説明)			目標実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位等
成果指標	1	水力発電の設置予定数（年）	目標値a	—	—	—	1	—	基
		実績値b	—	—	—	0	—	—	
	2	指標の説明 町内に設置される予定の水力発電における系統接続申請数	達成率(b/a)	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	0	#VALUE!	%
		木質バイオマス発電の設置予定数（バイオマス発電）（年）	目標値a	—	—	1	1	1	基
	3	指標の説明 町内に設置される予定のバイオマス発電における系統接続申請数	達成率(b/a)	#VALUE!	#VALUE!	0	0	0	%
		バイオマス発電の排熱を活用した農業施設数（年）	目標値a	—	—	—	1	1	箇所
	4	指標の説明 「アグリパーク2030」における排熱を活用した高度施設園芸数	達成率(b/a)	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	0	0	%
		いいじま体験プログラム等の参加者数（ワークショップ）（年）	目標値a	20	40	60	80	100	人
	4	指標の説明 飯島流ワークショップにおける体験プログラム及び宿泊者数	実績値b	68	333	668	968	—	—
		達成率(b/a)	340.0	832.5	1,113.3	1,210	0	%	
定性的な成果 (取組を進めたことで発現した数値で測れない効果などについて記載)									
指標等の成果分析 (指標の目標値達成を阻む外的要因等を記載)		<ul style="list-style-type: none"> ●水力発電事業や木質バイオマス発電事業はエネルギー事業であり、稼働安定性や持続可能性及び経済性を見定めた上での事業立案が必要です。 ●飯島流ワークショップ事業については、目標値として定めたいいじま体験プログラム等の参加者数（ワークショップ）を大きく上回っています。 ●顧客確保と宿泊稼働率向上が課題であり、他の町内宿泊業関係者と連携した取り組みの必要性を感じています。 							

3 施策を構成する主な事務事業の評価						
番号	事業コード	事務事業の概要 (簡潔に記載)	主な取組実績	事業費(千円)		
	事業名			年度	予算額	決算額
1	1176	●飯島ルネサンス「環境循環ライフ構想」具体化のため、プロジェクト会議を年5回以上開催し、方向性を協議 ●目指す姿を明確にし、町民への説明・企業等への協議	●水力発電事業における長野県企業局との協議(5回) ●飯島町地球温暖化対策実行計画(区域施策編)策定業務における水力発電に関する実現可能性調査実施済であるとともに、各種補助金活用における比較や水利権関係における国(国土交通省)との協議を行った。(1回) ●木質バイオマスエネルギー事業化における熱供給先確保について検討を行った。	R3	2,564	2,215
				R4	14,839	14,551
				R5	3,060	2,922
				R6	1,283	1,263
				R7		
2	1178	●3密対策不可避な都市部の「生活・働く」に、地方での「生活・働く」の選択肢をプラスし、「観光・農業」による癒しの要素を加え、新たな地域移住の需要の受入れ体制の構築 ●拠点として「トレーラーハウス」を農地近接で設置し、都市部の企業の社員やその家族が、アルプスと田園風景の素晴らしい環境の中で仕事をしながら休暇を楽しむことで、新しい生活様式による地方でのスローライフを提案	●都市部企業への訪問、プレゼンテーションの実施(関東方面2社訪問、中京方面4社訪問) ●飯島流ワーケーション推進協議会については、増減なし(18団体) ●飯島流ワーケーション推進協議会会議の開催(通常総会1回、臨時総会1回) ●情報周知(ホームページ、インスタグラム、YouTube、フルライフ倶楽部、エアビーアンドビー、なっぶ) ●飯島流体験プログラムの拡充について、宿泊とセットで実施するパッケージプラン化へ変更 ●令和7年度からのiineiチャーター春日平運営企業選定(㈱日本旅行に決定) ●関係人口創出のため、㈱和郷主催農山漁村関わり創出事業受入(2回) ●宿泊や農業体験プログラム稼働率向上のため、バス事業者・旅行会社対象の招聘ツアー実施(2回) ●宿泊拠点施設(iineiチャーター春日平)の活用推進(令和6年度実績283泊968名)	R3	—	—
				R4	10,005	9,740
				R5	17,098	14,698
				R6	7,841	7,423
				R7		
4 施策の進捗状況						
施策の進捗状況 (指標等の成果を中心に施策を構成する事務事業評価等から総合的に評価)	区分	選択区分	進捗状況区分を選択した理由			
	A. 順調に推移している (目標達成している) B. 一定の進捗がある (目標達成に向けて進捗している) C. 進捗は遅れている (目標達成が遅れる可能性がある) D. 進捗は大幅に遅れている (目標達成が難しい可能性がある)	B	●水力や木質バイオマス発電事業はエネルギー事業であり、稼働安定性や持続可能性及び経済性を見定めた上での事業立案が必要であるため。●飯島流ワーケーション事業については、目標値として定めた参加者数(ワーケーション)を大きく上回っています。顧客確保と宿泊稼働率向上が課題であり、他の町内宿泊業関係者と連携した取り組みにより稼働率向上に努めます。			
5 今後の方向性						
今後の事業構成の妥当性 (手段は妥当か)	区分	選択区分	事業構成の妥当性を選択した理由及び今後の方向性			
	I. 効果的な事業構成である (現状のまま継続する) II. 概ね効果的な構成である (一部見直し等の余地がある) III. あまり効果的な事業構成でない (見直し等の余地が大きい) IV. 事業構成に問題がある (抜本的な見直し等が必要である)	II	●水力発電や木質バイオマス発電事業については、令和7年度より他の再生可能エネルギー(例:太陽光発電等)と合わせ、飯島町カーボンニュートラル宣言に基づき、脱炭素施策へ一体化し取り組みを行います。●飯島流ワーケーション事業については、新型コロナウイルス感染症が5類となり、ワーケーションという取り組みから滞在型観光施設へ転換させ、令和7年度より㈱日本旅行が経営管理を行います。			
6 外部評価の所見						
●iineiチャーター春日平の宿泊稼働率向上に向け、町の魅力を活かした農業体験や自然体験等による取り組みを。						
7 所見を踏まえた改善点						
●令和7年度より株式会社日本旅行による経営管理がスタートしました。町・飯島流ワーケーション推進協議会・株式会社日本旅行の3者で連携を取りながら、町の魅力を活かした農業体験や自然体験等による宿泊稼働率向上に努めます。						